

第2回合同地域学校協働本部推進会議を開催

10月21日（火）、和光市役所にて第2回合同地域学校協働本部推進会議を開催しました。

今回は3つの中学校区合同で、「避難所運営ゲーム」{(H) hinanjo(U) unei 運営 (G) gameの頭文字をとったもの}を実施しました。避難所運営ゲームは、避難所運営をみんなで考えるために一つのアプローチとして静岡県が開発したものです。「HUG」は英語で抱きしめるという意味があります。

HUGは読み手の指示に作戦会議をしながら、どのように避難者を適切に配置し対応していくかを模擬体験するゲームです。8グループ、(3つの中学校区の管理職、地域連携担当の先生、地域、保護者、公民館長)に分かれ体験をしました。ペット連れの避難者、車いすの避難者、持病のある避難者、外国人の避難者、救援物資の受入、取材対応、トイレ問題、次々と指示が出されています。(写真は各グループで体験をしている様子です)



参加者の感想を紹介します。(一部抜粋)

- ・大変勉強になりました。大地震くるのかなと思いつつも、今まで自分ごととして考えていなかったことを痛感させられました(振り分けや対応が難しくて)。被災した際に起こるであろう困難やパニックをある程度想定しておくことで、心の準備ができそうです。
- ・ペットを連れてきた人の場所、ペットを家族と思っている人は同じ場所を望むが、動物アレルギーのある人への配慮はどうするのか?
- ・認知症の方への対応はどのようにするのがいいのか?
→たくさんの避難者と一緒にいたほうが、見守る目がたくさんあるのでよいのでは。
- ・体育館を避難所にしながらも、学校は授業再開を踏まえて教室開放を検討しないとならない。